

防災教育連絡会議に参加して

5月24日(火)に丹波篠山市で丹波地区防災教育推進連絡会議がありました。

この会議は、阪神大震災やその後の自然災害の教訓をいかす



ため、県民局、市担当部局・教育委員会・学校関係者が相互に連携を図るために設けられた会議で、私は学校関係者代表として参加しました。感染拡大防止の観点から対面での会議は3年ぶりとなりました。



こうした会議に出席した際に必ず思い出すことがあります。それは、平成26年8月の丹波市豪雨災害です。当時私は、本校の職員で災害後の8月17日に学校へたどり着いた時には、写真のように学校近くの川が氾濫し、通学路のフェンスはなぎ倒され、学校回りやグラウンド、通路もいたる所に泥水が溢れていて、どこから手をつければいいのかという状況でした。



当時の市島・竹田地域の様子や多くのボランティアの方々に復旧に



向けて支援いただいたことは今でも鮮明に覚えています。

こうした経験から学んだことを、当時の様子を知らない今の子どもたちにも伝えていかなければと考えています。また、定期的にも実施している命を守る訓練を大切にすることも重要と考えます。



会議の中でも、コロナ禍により地域や関係機関と連携した防災訓練等の実施が難しくなっていると伺いました。

本校では次回のオープン参観日、6月10日(金)午後に避難訓練と引き渡し訓練を計画しています。保護者の皆さん、関係機関とも連携し実施しますので、どうぞよろしくお願いいたします。